

# 施策評価調書(25年度実績)

|      |  |     |                          |       |             |         |         |
|------|--|-----|--------------------------|-------|-------------|---------|---------|
| 政策体系 |  | 施策名 | 地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出 | 所管部局名 | 農林水産部       | 施策コード   | Ⅱ-1-(5) |
|      |  | 政策名 | 知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業の振興   | 関係部局名 | 農林水産部、商工労働部 | 長期総合計画頁 | 85      |

## 【Ⅰ. 主な取り組み】

|       |        |                  |              |
|-------|--------|------------------|--------------|
| 取組No. | ①      | ②                | ③            |
| 取組項目  | 新事業の創出 | 他産業や研究機関などの有機的連携 | 資源循環型システムの構築 |

## 【Ⅱ. 目標指標】

| 指 標 |                      | 関連する<br>取組No. | 基準値 |     | 25年度 |     |        | 26年度 | 27年度 | 目標達成度(%) |    |    |     |     |
|-----|----------------------|---------------|-----|-----|------|-----|--------|------|------|----------|----|----|-----|-----|
|     |                      |               | 年度  | 基準値 | 目標値a | 実績b | b/a    | 目標値  | 目標値  | 25       | 50 | 75 | 100 | 125 |
| i   | 産業連携により開発された商品数(商品数) | ①②            | H16 | 6   | 66   | 99  | 150.0% | 73   | 80   |          |    |    |     |     |
| ii  | 小水力発電施設整備箇所数(箇所)     | ③             | H16 | 4   | 6    | 6   | 100.0% | 7    | 8    |          |    |    |     |     |

## 【Ⅲ. 指標による評価】

| 評価 |    | 理 由 等   |  | 平均評価 |
|----|----|---|--|------|
| i  | 達成 | 農商工連携を推進するための産学官組織である「おおいた食料産業クラスター協議会」を中心に、農業者と他産業のマッチング活動の取り組みを進めた結果、目標を達成した。また、6次産業化にかかるサポートセンターを「大分県産業創造機構」内に設置し、センターが委嘱した専門家(プランナー)によるきめ細かな助言・指導を実施しており、今後もより一層の新商品開発が期待される。 |  | 達成   |
| ii | 達成 | 由布市庄内町に民間事業者が小水力野畑発電所を設置したことで計6箇所となり、目標を達成した。   |  |      |

#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

| 取組 No. | 指標以外の観点からの評価  |
|--------|---|
| ①      | ・農林漁業者の生産意欲の醸成と所得向上、さらに地域振興の活性化のため、農山漁村の地域資源を活かした「おおいたワンコイン商品」を促進し、184商品が認定された。                                       |
| ②      | ・植栽や機械、荒茶加工施設整備等への支援を行った結果、大手飲料メーカーへのドリンク原料出荷量が161.5t、産出額は147百万円に達した(H24原料出荷量:121t/同産出額:108百万円)。                      |
| ③      | ・小水力発電施設の整備については、平成27年度の目標値である計8カ所を目指し、25年度末、松木地区(九重町)で施設整備に着手したところである。26年度は元治水地区(由布市)、日出生地区(玖珠町)で新たに施設整備に取りかかる予定である。 |

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

| 取組 No. | 事業名(25年度事業)              | 事業コスト(千円) | 26年度の実施状況 | 主要な施策の成果掲載頁 |
|--------|--------------------------|-----------|-----------|-------------|
| ①      | 世界農業遺産ブランド推進事業           | 68,553    | 継続        | 190         |
|        | おおいたワンコインふるさと商品推進事業      | 5,343     | 終了        | 191         |
|        | 県産品加工販売促進事業              | 28,525    | 終了        | 192         |
| ②      | 大分の茶産地強化対策事業             | 48,775    | 継続        | 193         |
| ③      | 林業再生県産材利用促進事業(木質バイオマス施設) | —         | 継続        | 165         |
|        | (公)小水力発電施設整備事業           | 41,399    | 継続        | 194         |

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○自由民主党大分県支部連合会からの要望(H25. 11. 11)

・地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出を推進すること。特に、農商工連携による6次産業化での高付加価値商品の開発を支援すること。

○日本労働組合総連合会大分県連合会からの要請(H25. 8. 6)

・農商工連携による地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す6次産業化の推進については、人材の育成・登用に向けた取り組みとして、優良事例の紹介や周知活動を充実させること。

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

| 総合評価 | 施策展開の具体的内容   |
|------|--|
| A    | <p>・6次産業化の推進のため、大分県産業創造機構に設置している6次産業化サポートセンターを活用した取組を強化するとともに、他産業及び関係機関との更なる連携、情報共有の促進を図っていく。</p> <p>・平成18年に締結した茶産地育成協定(大手飲料メーカー、県、杵築市、臼杵市間で締結)の25年度目標:茶園面積100ha(実績:106ha)を達成した。さらに、24年11月に宇佐市を加えた第2期協定が新たに締結され、30年度に200haまで茶園の拡大を目指しており、引き続き産地拡大に向けた支援を行っていく。</p> |